

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	早太郎温泉「日本で一番歩きたいまち」ブランド化事業
事業主体 (連絡先)	早太郎温泉事業協同組合 0265-81-7700
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,178,670 円 (うち支援金：1,634,000 円)

事業内容

- (1) 泊食分離地消地産促進事業 地元の酒造メーカーと連携し、地元メーカーの商品を積極的に取り入れている飲食店へ旅館から誘導するチラシを作成
- (2) 国定公園記念「日本で一番歩きたいまち」ブランディング事業
 - ①国定公園記念事業として、中央アルプス国定公園記念『鈴木ともこさんと登る！中央アルプス木曾駒ヶ岳オンライン登山ツアー』を実施。10月24日(土)25日(日)各日2回 計4回開催 各回20名計80名参加
 - ②早太郎温泉めぐり企画 記念タオルを製作
 - ③登山アプリ最大手YAMAP連携企画 登山だけでなく、麓の街を巡るPR施策を実施

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- (1) 泊食分離地消地産促進事業チラシ：協力飲食店・メーカー25社が協力したチラシを作成。宿から駒ヶ根の街へ誘客し、域内経済循環の仕組みづくりを構築した
 - (2) 『中央アルプス木曾駒ヶ岳オンライン登山ツアー』80名参加 オンライン山登りツアーという全国でもほぼ例のないツアーを開催。高齢や病気で山をあきらめた人がオンラインツアーで山登りを疑似体験したいというニーズがあることを発見できた。新しい生活様式のツアーとして知見を深めることができた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

登山アプリ最大手YAMAPにて、木曾駒ヶ岳登山利用者年間1万人に登山だけでなく、周辺の温泉・飲食店への誘導をおこなう仕組みづくりを構築できた。令和3年度に中央アルプス国定公園記念式典の開催が予定されており、登山のお客様を山だけで帰さない取組を継続する。具体的には中央アルプス国定公園キャンペーンを実施し、日帰りのお客様を早太郎温泉に宿泊して周辺飲食店等に周遊させる取組をおこなう。また、オンライン登山ツアーにてコロナ終息後には必ず木曾駒ヶ岳登山に訪問すると多くの方が言っただき、関係人口となっていた。新型コロナウイルス感染症の状況次第では新しい生活様式のツアーを企画していく予定。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【オンライン登山ツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ①域内周遊の仕組みづくり
- ②新しい生活様式のツアー造成
- ③コロナ終息後の誘客促進
- ④関係人口づくり

※自己評価【B】

- 【理由】
- ・緊急事態宣言発令を受け、中止する事業もあった。
 - ・緊急事態宣言を受けオンライン登山ツアーに変更。コンテンツと配信に工夫し、満足度が高かった。